

# メダカの稚魚飼育方法

2020年6月 高木

- ① メダカの稚魚を元気に育てるには採卵する親が元気なことが重要です。元気な親の卵は元気な稚魚を育てるための一歩です。

では、元気な親とは？

- ・ 雄(♂)はヒレが大きくきれいで体型はシュッとしている。
- ・ 雌(♀)はヒレがきれいでお腹が少しぷっくりしている。
- ・ 体の傷がないことは雄(♂)、雌(♀)ともに共通です。
- ・ 雄(♂)、雌(♀)の体の大きさはなるべく同じくらいが良い。

- ② 親が1から3ペアであれば3リットル水槽、それ以上は9リットル水槽で育てるのが望ましい。あまり密に育てるとメダカにストレスとなり卵の産みが良くない。採卵する時の餌はブラインシュリンプを多めに与えると良い。1日3回が望ましい。一度に多く与えるより回数を分けた方が良い。(1日の餌の量は変わらず)
- ③ 親が卵を産み始めたら毎日採卵し5日分位は1つのシャーレにまとめても良い。シャーレ内で孵化した稚魚はスポイトを使いプラケースに移す。プラケースにはメチレンブルー入りの飼育水を底から2～3cmの深さに入れておく。あまり深いと稚魚が餌を食べられないので、深さに注意する。

注意点

- ・ シャーレ内の卵の殻はその都度取り除く。
  - ・ シャーレ内は狭く稚魚の飼育環境的にはよくないので、1日に何度もシャーレを見て、孵化していたらすぐにプラケースに移す。
  - ・ 1リットルプラケースには5～6匹ぐらいにする。それ以上は3リットルプラケースに移す方が良い。稚魚といえどもあまり密に飼わない。
- ④ プラケースにはハッチした日付を書く。稚魚は一週間分位まとめても良い。餌は稚魚用の粉餌＋ゾウリムシを与える。回数は1日2回、給餌の前にキムワイプを使い飼育水表面の粉餌の油膜、ごみを取り除くために掃除する。

## 水面の掃除方法

プラケースの短い方を手前に置き、キムワイプは横長にして両手で持ち水面上を奥から手前に引く。あくまでもそっと、ゆっくりキムワイプを移動させます。これで水面上の油分、ごみを取り除けます。水槽の底にたまったごみはスポイトを使い取り除く。この作業を約1週間位続ける。

- ⑤ 稚魚は生まれた日に幅があるので1週間位した稚魚にブラインシュリンプをプラケースに少量加える。従って、しばらくは粉餌+ゾウリムシ+ブラインシュリンプになります。

具体的な稚魚餌の量ですが粉餌(バイオリソースでは専用のボトルケースがあります。)は耳かき1/5~1/6程度(量ったことはないですが)とごく少量で大丈夫です。逆に多すぎると水が汚れて稚魚にはよくありません。基本的に稚魚の時は水かえしないので水が汚れないように注意します。ゾウリムシは稚魚2~3匹であればゾウリムシ培養液ごと5ml、それ以上の稚魚数であれば7~8ml位に増やします。ブラインは0.5~1mlで十分です。ブラインシュリンプを稚魚が食べるとお腹が赤くなります。お腹の色を見て食べているか確認する。

最後にハッチした稚魚が1週間位したらそろそろシステム水槽に移す時期になります。

- ⑥ すべての稚魚がブラインを食べられるようになればシステムに移します。給水(ポタポタ)は弱めにします。システムに移してから餌はブラインシュリンプのみになります。移した後もブラインシュリンプを多く与え過ぎない。食べ残したブラインシュリンプがある場合はたまに取り除く。餌の食べ具合を3週間位は注意深く見る。孵化してから約1ヶ月過ぎれば普通にブラインシュリンプを与えてかまいません。